

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
講義概要	<p>この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらおう。</p> <p>1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。</p> <p>2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。</p> <p>3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。</p> <p>学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手がすくなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史のお祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営 等 その他：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動 等</p>		
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、9月27日（火）～11月17日（木）火曜日と木曜日を授業日とする。		
授業形態	実習		
到達目標	<p>本科目をサービ斯拉ーニングIV（発展）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【コミュニケーション力】話・意見を聞き、自分の意見をしっかりと且つ人間関係を円滑にすることを心がけ、伝えることができる。</p> <p>②【主体性】社会・実習先の帰属意識をより高め、周囲の状況から課題を発見し、積極的に自分ができることを行うことができる。</p> <p>③【規律性・忍耐力】新しい取り組みの中でも、様々な課題・問題を熟考し、確実に役割・目標を全うできる。</p> <p>④【ストレスコントロール力】新しい活動に取り組む中でもストレスをコントロールしながら自分の役割を着実に果たすことができる。</p> <p>⑤【課題発見力】活動を行う場である地域の課題を考えることができる。</p>		
評価方法	活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価する。		
評価基準	活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）		
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。		
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。		